

昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 040

師走を迎え、販売店の皆様におかれては、肥料高騰対策の手続きや、肥料・農薬の値上げ話もあって、例年にも増して大変に多忙な毎日であろうと思います。さて、普段はありがたくない雑草ですが、何か役に立つことはないものかと、以下考えてみました。

～土壌pHは、雑草が知っている～

土壌pHの測定は、意外と手間やコストがかかったりしますが・・・そんな時は、圃場回りで目にする雑草によって、土壌pHの目安をつけることができるので、紹介します。

◎強酸性（pH4.5～5.5）を好む

スギナ、スズメノテッポウ、クローバー、エノコログサ、ヒエ など

◎弱酸性（pH5.5～6.5）を好む

カタバミ、アカザ、ギシギシ、オオバコ など

◎中性（pH6.5～7.0）を好む

ナズナ、コニシキソウ、レンゲソウ、ヒメオドリコソウ など

◎アルカリ性（pH7.0～）を好む

ハコベ、ホトケノザ、コヌカグサ など

◎pHを選ばない

ススキ、メヒシバ、マツバイ、アレチノグサ など

大半の地域では、根酸やNPK施用によって土壌pHが酸性に寄りやすくなっています。また、雨水のpHは、全国平均で4.7と明らかに酸性に片寄っており自然に土壌pHは酸性寄りになります。このようなことから、土壌酸度の矯正は大切です。

～酸度矯正には弊社商品をお役立ててください～

例として在圃期間の長い作物では、生育後半に病害発生や生育の乱れが多く、その原因は、生育後半に土壌酸度矯正効果が切れることが挙げられます。このような場合の改善には、pH矯正が長続きする資材がうってつけです。

土壌pHの調整は土づくりの基本かつ真髄です。弊社グループでは、土壌のpHを上下させる資材が揃っています。是非、ご相談ください。

お問い合わせは TEL 0766-67-2700 FAX 0766-68-1227
HPアドレス <https://showa-f.co.jp> まで、お願いします。